

2020年9月2日 第337号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会 ウィメンズアクション

安倍首相辞任! 「安倍政治」からの転換を!

憲法生かし、一人ひとりが主人公の社会の実現を!

総がかり行動実行委員会は9月1日夜、有楽町・イトシア前でウィメンズアクションを行い53人が参加しました。安倍首相が8月28日に突然、辞任を表明した後、はじめての行動となりました。安保法制(戦争法)の強行、二度にわたる消費税増税、モリ・カケ・桜を見る会問題など、市民の声を無視し政治を私物化するなど悪政を強行し続けた7年8カ月に終止符が打たれました。今こそ、憲法を生かし、「安倍政治」からの転換が求められています。日本共産党の山添拓参議院議員、社民党の福島瑞穂参議院議員が訴えました。

憲法共同センターから3人が訴え。国公労連の伊吹五月さんは、森友学園の公文書改ざんで自殺に追い込まれた近畿財務局の赤木さんについて話し、「さらなる調査をしないと許せない。真相の究明を」と呼びかけました。憲法問題について「孫が生まれ、平和で安心して暮らせる社会を手渡すため、憲法を守るためにがんばる」と決意を話しました。

新婦人の米山淳子さんは『平和なくして平等なし。平等なくして平和なし』を女性運動の目標として取り組んできた。選択的夫婦別姓導入でも立ちほだかったのは安倍首相。9条を改憲し戦争する国にすることを狙うなど私たちの願いとは反対。安倍政治の流れをくむ人なら誰が首相になっても同じ。憲法を生かす政治へ転換するため、市民と野党の共同の大きな流れをつくろう」と呼びかけました。

全労連の長尾ゆりさんは「安倍首相がやっと辞任した。私たちの退陣を求める声や運動で辞めさせた。7年8カ月の在任中にしたことを忘れてはいけない。女性の活躍推進と言っていたが、コロナ禍で非正規の女性が真っ先にクビを切られた。医療・介護・福祉分野では感染の危険にさらされながら女性たちが働いているのに、賃金がカットされたりしている。安心して暮らせるための補償、医療・福祉などへの支援が必要」と強調。「辞任表明の会見で、やり残したことは改憲と発言した。敵基地攻撃能力を保持する、他国を攻める国に引き戻す、そんなことは嫌だ。平和な国を子や孫に引き継ぎたい。国民は改憲など望んでいない。F35戦闘機やオスプレイに使う税金はコロナ対策にまわすべき。憲法を生かした社会、一人ひとりが主人公として生きられる社会を実現するため、心をつないで世の中を変えよう」と訴えました。



* 当面の行動

9月19日(土)～25日(金) 憲法共同センター「憲法いかして、いのちと暮らしを守れ!」
全国統一週間 各地で取り組みの具体化を

9月11日(金) 総がかり行動実行委員会 署名宣伝 18時～ 新宿駅西口

9月17日(木) 日朝ピョンヤン宣言18周年集会 18時30分～ 文京区民センター

9月19日(土) 総がかり行動実行委員会「19日行動」15時～ 国会正門前